

I. 広東省

1. 省党常務委員会議の開催

●12日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、2016年全国軍隊転職幹部の配属に関する業務会議の精神を伝達・学習し、広東省で貫徹・実施するための意見について検討。習近平・総書記の重要講話の精神をしっかりと学習・貫徹し、同省でも軍人の転職業務を着実にを行い、任務の達成を確保するよう強調（6月13日付『南方日報』）。

2. 全省都市業務会議の開催

●13日、上記会議で胡春華・省党書記は、人を中心とした都市化を着実に推進し、新都市化の道を歩みながら、広東省が率先して小康社会を全面的に建設し、率先して社会主義の現代化を基本的に実現するために、新たな貢献をしていくよう強調。朱小丹・省長が具体的に業務を手配（6月14日付『南方日報』）。

●16日、省住宅建設庁は2020年までに全省の常住人口の都市化率を71.7%にすると発表（6月18日付『南方日報』）。

3. 国家知的財産権局と省政府が第3ラウンドの知的財産権ハイレベル協力協議議定書に署名

●14日午後、国家知的財産権局と省政府による第3回知的財産権ハイレベル協力協議会、牽引型で知的財産権に明るい省を建設していくためのキックオフ大会が開催され、胡春華・省党書記立会いの下、朱小丹・省長と申長雨・国家知的財産権局局長が上記議定書に署名（6月15日付『南方日報』）。

4. 世界最大規模のバルク貨物輸送会社が広州市南沙に開設

●16日午前、中国遠洋海運（コスコ）バルク貨物輸送会社の設立記念セレモニーが行われ、胡春華・省党書記、許立栄・コスコグループ董事長、任学鋒・市党書記、孫家康・コスコバルク貨物輸送公司董事長、温国輝・市長が出席。広州市とコスコグループが戦略的協力枠組み協定に署名（6月17日付『南方日報』）。

5. 省政府常務会議の開催

●16日午後、朱小丹・省長主宰の上記会議が開催され、農業発展モデルの転換、ニューメディア産業基金の設立、第2陣となる広東自貿区による改革刷新の経験のコピー・拡大等について検討・手配（6月17日付『南方日報』）。

6. ネットワーク・セキュリティ、情報化に関する省党指導チーム第3回会議の開催

●17日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、人々を幸福にするため、もっとインターネット機能をうまく働かせる強調。ZTE、テンセント等民間企業の代表者も出席（6月18日付『南方日報』）。

7. 省党常務委員会議の開催

●17日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「開放型経済の新体制構築に関する中共広東省党委員会、広東省人民政府の実施意見」について審議し採択（6月18日付『南方日報』）。

8. 反腐敗にかかる処分

●17日、広東省紀律検査委員会は盧淳杰・潮州市長を重大な紀律違反の疑いで調査していると発表（6月18日付『南方日報』）。

9. 何忠友・副省長一行が第3回中国-中東欧諸国（16+1）地方指導者会議に出席

●15日～17日にかけて、何忠友・副省長率いる広東省代表団が河北省唐山市で開催された上記会議に出席。

チェコ・南モラヴィア州（広東省の友好都市）州議会議員と会談し、経済・貿易、ハイテク技術、観光、省内の市レベルでの友好都市発展等の分野における協力に関して意見交換（6月18日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 市政府常務会議の開催

●13日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で「政界と財界の新たな関係構築に関する省紀律検査委員会、省監察庁による若干の意見（試行）」の精神を伝達。併せて、広州市のエコ文明建設、白雲空港総合保税區計画等について審議し採択（6月14日付『広州日報』）。

2. 市政府党組織会議の開催

●13日午後、温国輝・市長主宰の上記会議で、厳正な紀律による指導者入れ替え期の風紀監督強化、「両学一做」学習教育の着実な実施に関する文書について伝達・学習した（6月14日付『広州日報』）。

3. 全国供消合作社総合改革試行地区推進会等の開催

●先頃、任学鋒・市党書記、温国輝・市長が王俠・全国供消合作総社理事長一行と座談会を開催。任書記は、広州市は同社が「三農」業務、都市-農村間の流通システムの改善等で果たしている重要な役割を非常に重視しており、より多くの改革試行ポイントと業務刷新を広州で実施してもらいたいと伝えた。潘建国・市党常務委員、蔡朝林・副市長、唐航浩・市政府秘書長も同席（6月15日付『広州日報』）。

4. 広州市知的財産権先行エリア業務始動会議の開催

●14日午後、王東・副市長主宰の上記会議が開催され、温国輝・副市長、賀化・国家知的財産権局副局長が出席（6月15日付『広州日報』）。

5. 陳建華・市人代常務委員会主任が裁判所、検察院を視察

●先頃、上記視察で、陳建華・市人代常務委員会主任は座談会を開催し、意見や提案について聴取。司法機関は仲裁機能を十分に発揮するよう強調（6月15日付『広州日報』）。

6. 任学鋒・市党書記が国際科学技術イノベーションのハブ建設、供給構造改革の進捗状況を視察

●14日～15日にかけて、任学鋒・市党書記は越秀区、天河区、黄埔区を訪れ、スマート製造、バイオメディカル、新エネルギー、インターネット・サービス、スマートシティ、文化クリエイティブ産業等の企業15社を視察し座談会を開催（6月16日付『広州日報』）。

7. 市党常務委員会会議の開催

●16日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、全国軍隊転職幹部の配属に関する業務会議の精神、改革深化・創新駆動発展戦略を急ぐための全省指導チーム第5回会議の精神、全省都市業務会議の精神を伝達・学習（6月17日付『広州日報』）。

8. 温国輝・市長が胡曉明・アリババ集団副総裁と会談

●16日午後、上記会談で胡・副総裁は、広州市でクラウド・コンピューティング、ビッグデータ、フィンテック、電子商取引、スマート交通、スマート・メディカル等の分野の協力を深めていきたいと表明（6月17日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長一行が上海市を視察

●11日～12日にかけて、馬興瑞・市党書記率いる深圳市党・政府代表团が上海自貿区等を視察し、韓正・上

海市党書記、楊雄・市長と会談（6月13日付『深圳特区報』）。

2. 深圳企業がブルガリアに「ポーターシティ・欧州本部」を建設

●14日、深圳市五洲ホテルで、「“一帯一路”ブルガリア-深圳経済・貿易協力プロモーション・イベント」が開催され、「一帯一路」国家戦略の成果として、深圳市のポーター・ホールディングスとブルガリアのSi en i tホールディングスがプロブディフ市（ブルガリア第2の都市）でCBDを共同建設することが決定。14日午前、陳副市長がブルガリアの経済・エネルギー・観光省官房長と会談（6月15日付『深圳特区報』）。

3. 馬興瑞・市党書記、許勤・市長一行が武漢市を視察

●14日～15日にかけて、馬興瑞・市党書記率いる深圳市党・政府代表団が武漢市で李鴻忠・湖北省党書記、王国生・省長と会談し座談会を開催（6月16日付『深圳特区報』）。

4. 書記特別テーマ会議の開催

●16日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、違法建築の取締り業務の進捗状況について聴取し、次の業務を検討し手配（6月17日付『深圳特区報』）。

5. 馬興瑞・市党書記が金融、不動産会社のCEO等と会談

●16日午前、馬興瑞・市党書記は畢明建・中国国際金融公司CEO、張力・広州富力不動産公司董事長一行とそれぞれ会談（6月17日付『深圳特区報』）。

6. 劉慶生・副市長がガーナ新愛国党副党首一行と会談

●本年5月、ガーナの首都アクラ市の市長一行が深圳市で開催された文博会に参加し、正式に深圳市の友好交流都市となった。先頃、ガーナ新愛国党副党首一行が深圳市を訪れ、経済・貿易、エネルギー等の分野で更に協力を強化していくことで合意（6月17日付『深圳特区報』）。

7. 人民日報社とテンセントが戦略的協力協定に署名

●15日、人民日報社とテンセントが北京でメディア融合発展イノベーション戦略的協力協定に署名し、内容、ルート、プラットフォーム、経営、管理等の分野で協力を深め、メディア融合ミックスでビッグ・システムを構築していくこととなった（6月17日付『深圳特区報』）。

8. 市党常務委員会議の開催

●17日午後、馬興瑞・市党書記主宰の上記会議で、深圳市を国家新型スマートシティの手本としていくよう強調（6月18日付『深圳特区報』）。

9. 第4回深圳国際低炭素シティ・フォーラムが開幕

●17日午前、上記フォーラムが開幕し、40以上の国と地域から約2,000人の政府関係者、低炭素分野のリーダーや専門家が出席。張勇・国家発展改革委員会副主任、許勤・市長が開幕式で挨拶（6月18日付『深圳特区報』）。

10. 中国初の国家ゲノム・ライブラリーの試験運用が開始

●18日午前、約5年の建設期間を経て、深圳市大鵬新区で中国初の国家ゲノム・ライブラリーの試験運用が始まった。馬興瑞・市党書記、袁宝成・副省長、許勤・市長等がオープニング・セレモニーに出席。同ライブラリーは2011年に国家発展改革委員会等の許可を得た後、BGIに建設・運営が委託されている。馬書記は産学連携を急ぎ、世界レベルの研究開発センター及び企業を構築し、科学技術強国の建設に貢献してほしいと述べた。

（6月19日付『深圳特区報』）。

※BGI（華大基因）：中国のゲノム解析大手。2011年1月、香港の現地法人を通じて日本にも進出。日本での拠点は神戸市。